令和５（2023）年度 資源評価調査状況報告書（新規拡大種）

モロトゲアカエビ日本海北中部

対象水域	日本海北中部（青森～石川）	参画機関名	水産研究・教育機構 水産資源研究所底魚資源部、青森県産業技術センター水産総合研究所、秋田県水産振興センター、山形県水産研究所、新潟県水産海洋研究所、富山県農林水産総合技術センター水産研究所、石川県水産総合センター

（1）調査の概要

・機構は生物情報の収集と各県漁獲情報の集約を実施
・各県は漁獲統計の収集を実施

（2）データ収集状況

各機関により、令和4年度評価で用いた情報に加え、以下の通り情報収集を実施
・青森県では日本海主要21港の2007年以降の漁獲量を集計済み（＊1）
・秋田県では2004年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
・山形県では2021年以降の月別漁法別漁獲量（トヤマエビが主体の「シマエビ」）を収集済み
・新潟県では2021年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
・富山県では2021年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
・石川県では主要10港の2012年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
・機構は、各県機関収集した集計値の整理を実施
＊1：12港のうち岩崎および小泊のかごでのみ漁獲（魚種確認も必要）

（3）生物学的特性

(1) 分布・回遊：令和４年度評価報告書（https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2023/03/report_2022_187.pdf、2023 年 11 月 20 日閲覧）を参照
(2) 同上
(3) 同上
(4) 同上

（4）備考

・資源評価調査報告書については令和４年度に作成および公表済み
https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2023/03/report_2022_187.pdf、2023 年 11 月 20 日閲覧）

・漁獲統計にモロトゲアカエビのみの集計値ではないデータが含まれ、精査が必要
・トロールや桁網での採集量は少なく、有効な資源量指標値の探索が必要